

# 平成 22 年度「意欲を育む体験活動推進フォーラム」開催要項

## 1 趣 旨

平成 21 年度の広島県内の不登校児童生徒は、小学生 611 人 (0.38%)、中学生 2,387 人 (2.89%) となっており、減少傾向にあるものの依然として深刻な状況にあります。

こうした背景から、広島県教育委員会は、不登校対策の一環として、広島県立福山少年自然の家及び安芸高田市、庄原市の県内 3 地域において、体験活動を通して、意欲をもって生活する態度を培うとともに主体性や社会性を育み、再登校のきっかけづくりとするために、文部科学省委託事業を活用して「意欲を育む体験活動推進事業」を実施してきました。

事業の推進に当たっては、プロジェクト委員会を設置し、大学、NPO 法人、指定市町教育委員会、市町適応指導教室など、教育関係機関と連携し、事業の普及及び事業効果の検証、体験活動プログラム事例集等の調査研究をはじめ、指導者・ユースサポーター（支援者）の養成に努めてきました。

本フォーラムは、実践発表や調査研究報告、シンポジウムを通して、不登校児童生徒の自立への意欲を育む体験活動や支援の在り方について理解を深めるとともに、県内の各市町及び青少年教育施設における取組の充実を図るために実施します。

## 2 主 催

広島県教育委員会

## 3 主 管

広島県立福山少年自然の家

## 4 日 時

平成 23 年 2 月 22 日（火） 午後 1 時 20 分から午後 5 時まで

## 5 会 場

広島県立福山少年自然の家 大研修室

〒720-0542 福山市金江町藁江 619-2

## 6 日 程

13:00	13:20	13:30	14:30	15:00	15:10	16:50
受付	開会行事	実践発表	調査研究報告	休憩	シンポジウム	閉会行事

## 7 内 容

### 【実践発表】

テーマ 「意欲を育む体験活動推進事業の取組を通して」

発表 1 ～福山少年自然の家における「里山夢体験」の推進について～

発表者 広島県立福山少年自然の家専門員 石川 順雄

発表2 ～安芸高田市における事業の推進について～

発表者 安芸高田市教育委員会生涯学習課調整監

小田 洋介

発表3 ～庄原市における事業の推進について～

発表者 庄原市教育委員会生涯学習課社会教育係主任主事

荒木 誠

【調査研究報告】

「事業参加経験者への面談による事業効果の検証」

報告者 広島大学教育学部第五類心理学系コース4年

馴田 佳央

【シンポジウム】

テーマ 「不登校児童生徒の自立への意欲を育む支援の在り方」

コーディネーター 広島大学大学院教育学研究科教授 岡本 祐子

シンポジスト NPO 法人これからの学びネットワーク代表

堀江 清二

尾道市適応指導教室相談員 宮本 俊二

事業参加児童生徒保護者代表 村上 祥子

ユースサポーター（支援者）代表 馴田 佳央

8 参加対象者

保護者, 教職員, スクールカウンセラー, 適応指導教室関係者, 市町青少年教育担当者, 青少年教育施設職員, 民間フリースクール等関係者

9 参加申込

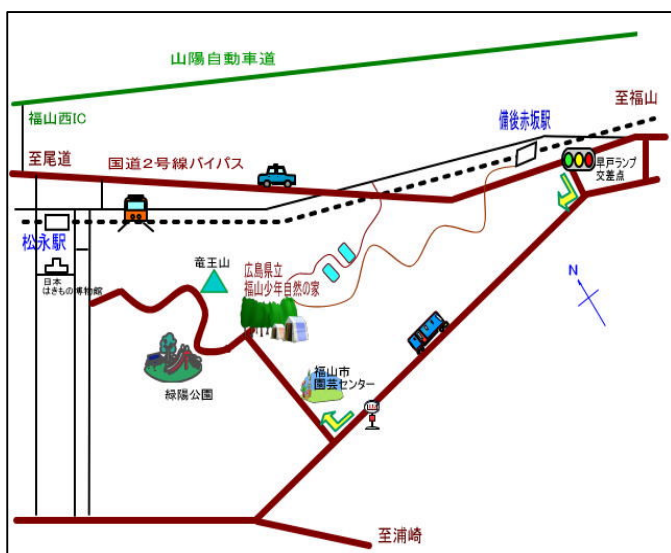
別紙参加申込書に記入のうえ, 2月16日(水)までにファクシミリ又は郵送してください。

申込先 〒720-0542 広島県福山市金江町藁江 619-2

広島県立福山少年自然の家

電話 084-935-7166 ファクシミリ 084-935-7179

10 会場案内



- ☆尾道方面から \*尾道駅から車で約30分
- 国道2号線バイパス早戸ランプ交差点を右折後, 農免道路を沼隈方面へ約3Km直進, 藁江峠(看板・バス停有)を右折して約2Km
- 松永から浦崎方面へ直進し, 農免道路(福山方面)方面へ左折して約5Km
- 松永駅東宮前2丁目交差点を右折し踏切を横断後左折して約5Km
- ☆福山方面から \*福山駅から車で約20分
- 国道2号線バイパス早戸ランプ交差点を左折後, 農免道路を沼隈方面へ約3Km直進, 藁江峠(看板・バス停有)を右折して約2Km
- ☆JR山陽本線
- 広島方面から: 松永駅下車(タクシーで約5km)
- 福山方面から: 備後赤坂駅下車(タクシーで約5km)
- ※国道・県道の要所には施設看板がありますが不明な点はお問合せを!
- ※自家用車の場合は, 施設駐車場をご利用ください。